

福岡県非行防止・ネット適正利用地域ミーティング 講師一覧（R7.5時点）

※ 講演可能な地域区分

北九州	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、遠賀郡、京都郡、築上郡
福岡	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市 古賀市、福津市、朝倉市、糸島市、那珂川市、糟屋郡、朝倉郡
筑豊	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、鞍手郡、嘉穂郡、田川郡
筑後	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市 うきは市、みやま市、三井郡、三潁郡、八女郡

※ 部門一覧

地域連携による 青少年育成	①非行防止 ②街頭補導・相談 ③地域防犯 ④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり
青少年が 抱える問題	⑥インターネットの適切な利用 ⑦不登校 ⑧いじめ ⑨発達障がい ⑩児童虐待・ネグレクト ⑪子どもの貧困
家庭・学校	⑫親の養育力向上 ⑬困難を抱える家庭への支援 ⑭子どもの心理・発達の理解

【諸注意】

講師により、申請者からお支払いいただく謝金・旅費等が異なります。また、講演当日に限らず打合せその他により、別途謝金等が発生しますので、申込後は必ず講師と直接調整し、実施いただきますようお願いいたします。（県においては、原則申請者と講師の初回の連絡調整のみ行います）

また、事業実施後、申請者は県に対し報告書の提出をお願いいたします。

○講師一覧

講師名（団体名）	対応地域	部 門
泉 泰子	全域	① ② ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑫ ⑬
奥 蘭 公明	全域	① ② ⑥ ⑦ ⑧ ⑫ ⑭
小田 哲也	全域	④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑫
金子 昌隆	全域	① ③
木藤 政博	全域	⑦ ⑧ ⑨ ⑫ ⑭
副田 茂喜	福岡/筑後	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑫
長阿彌 幹生	全域	⑦ ⑫
土井 高德	全域	① ④ ⑦ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
中光 雅紀	全域	⑦ ⑫ ⑬
濱砂 清	全域	① ③ ⑤ ⑫
樋口 綾子	北九州/福岡	① ⑦ ⑧ ⑪ ⑫
NPO 法人 S F D 2 I J A P A N	全域	① ④ ⑤ ⑦ ⑧
NPO 法人 J A C F A	全域	⑦
NPO 法人 にじいろCAP	全域	① ③ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭
NPO 法人 日本ガーディアン・エンジェルス	北九州/福岡	① ② ③ ④ ⑤
NPO 法人 F O S C	全域	⑦ ⑩ ⑪ ⑬
置 鮎 正則	全域	⑥ ⑫
一般社団法人 アクティブ・ペアレンティング・ジャパン	全域	① ⑥ ⑦ ⑨ ⑫ ⑭
NPO 法人 子どもとメディア	全域	⑥

メディア部門

講師名	いずみ やすこ 泉 泰子
経歴等	福岡県内の公立中学高校で8年程教壇に立った頃、一人の非行少年との出会いをきっかけに、平成18年から彼らの立ち直り支援を専門に行う福岡県警の少年育成指導官に転身。その後約17年間、多くの非行少年と関わる中で、彼らがそれぞれに壮絶な被害体験を口にするのを聞いてきた。非行少年は「困った子ではなく困っている子」。共に関わる大人たちが視点を変えることで、少年たちは立ち直っていった。現在はその経験を元に、少年たちの非行という声にならない声をどう受け止めていくのか体験談をもとに講演活動を行う。 また、自身の娘が小学校2年生で不登校となったことを機に、ギフティッドとLDの特性を合わせ持つ2Eであることが分かり、日本において多くのギフティッド児が不登校になっていることを知る。そんな子どもたちを救いたいとの想いから、ギフティッド教育研究の先進国であるアメリカのメソッドを学び、子どもたちを不登校にも非行にもしない学校、家庭、地域の在り方を研究し続けている。不登校をテーマとした講演依頼には当事者の保護者の立場と支援者としての両面からの講話を行っている。
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ②街頭補導・相談 ④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり ⑦不登校 ⑧いじめ ⑩児童虐待・ネグレクト ⑫親の養育力向上 ⑬困難を抱える家庭への支援 ○その他(・特異な才能のある児童生徒に対する指導・不登校支援)
内容	◆非行防止・支援(教職員研修・PTA研修・親子参加型講演・青少年支援関係者の研修・地域向けの講演など) 非行問題は虐待やネグレクトとも深く関係しています。非行の背景を考えることで、本物の支援の在り方が見えてきます。講話では当時携わった子供たちの生の声を皆さんに届けながら、事例を元に支援方法を考察していきます。 保護者向けの講演では、予防の観点からも、親子の在り方を考えます。親子参加型の講演も実施しています。 ◆不登校・・・不登校児と親のリアルな現状から対策が見えてくる。また、不登校はいじめや非行とも深い関係があること。子どもの命と笑顔を守るとは一緒に考察します。 ◆特異な才能のある児童生徒に対する指導(教職員研修)ギフティッドの現状。アメリカのギフティッド教育を元に日本の教育現場での実践方法。
時間帯 時間数	応相談 / 1回当たり60分～90分程度
オンライン	対応可
必要設備等	プロジェクター、スクリーン
講師名	おくぞの きみあき 奥蘭 公明
経歴等	○福岡県公立学校教員(小学校)・校長 ○福岡県教育委員会南筑後教育事務所 児童生徒指導相談員 ○柳川人権擁護委員
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ②街頭指導・相談 ⑥インターネットの適切な利用 ⑦不登校 ⑧いじめ ⑫親の養育力向上 ⑭子どもの心理・発達の理解
内容	◆スマホ、インターネットの濫用による「ヒマつぶし(時間すごし)」は、「人つぶし(自分も他人も)」を講じ、他の人権だけでなく、自分の人権の大切さを訴えたい。 ◆また、それらを非行防止につなげたい。
時間帯 時間数	応相談/1回当たり90分～
オンライン	対応可
必要設備等	(有れば)プロジェクター(OHP)、スクリーン、ホワイトボード、マグネット複数(DVD上映の場合、DVDプレーヤー)
講師名	おだ てつや 小田 哲也
歴等	ONPO 法人箱崎自由学舎 ESPERANZA (エスペランサ) 代表 (URL https://www.esperanzahp.jp) 大きな社会問題になっている中高生の不登校やひきこもりの要因の一つとして、悩みを相談する機会が少ないことや、フリースクールなどの該当児童・生徒を受け入れる機関が少ないことが考えられる。 教育相談事業やフリースクール事業を行うことで、「自分らしさ」を発揮できる場を提供し、行き場を失い、自己嫌悪に陥っている若者たちの元気を取り戻し、将来の日本に夢を抱けるよう、若者の自主性を育てる教育環境の確保をしていきたいと考える。 ○保護司 ○元 青年海外協力隊員(福岡県青年海外協力協会監事) ○国際緊急援助隊 医療チーム 医療調整員
地域	福岡県全域
部門	④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり ⑦不登校 ⑧いじめ ⑫親の養育力向上 ○その他(・青少年問題に関する異文化理解、国際協力・コミュニケーション力について)
内容	◆悩みを抱える子どもたち ～大人たちは何をすべきか～ ◆子どもとの関わり方について ◆途上国を見て、日本人に欠けているもの、大人たちが伝えるべきこと ◆子どもたちに自信をつけさせるために大人たちがどのように関わるか ◆不登校・非行の現状 ◆体験ワークショップや意見交換を実施
時間帯 時間数	応相談 / 1回当たり60分～180分程度
オンライン	対応可
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン

講師名	かねこ まさたか 金子 昌隆
経歴等	○元 春日小・中学校 PTA 会長 ○県 安全安心まちづくりアドバイザー ○春日・大野城・那珂川 防犯指導員 ○家庭裁判所ゲストスピーカー
地域	福岡県全域（九州内及び近本州、長崎、佐賀、熊本可）
部門	①非行防止 ③地域防犯
内容	◆子どもの視点に立った安全な地域づくりと青少年育成 ◆子どものためにできることから始めよう、地域防犯とまちづくり ◆地域住民とともに築く子どもに安全安心なまちづくり ◆青少年の万引き防止 軽いつもりが重い罪 など
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～90 分程度 調整可
オンライン	講師が会場に伺い、主催者が準備した WEB 会議システム等を利用しての講演可
必要設備等	（有れば）パソコン、プロジェクター、スクリーン ※自前のパソコン、プロジェクター持込有（故障時に使用予定）
講師名	きとう まさひろ 木藤 政博
経歴等	○一般社団法人家庭教育研究機構アドバイザー ○元 福岡県発達障がい者支援センターゆう・もあ センター長 ○元 福岡県立川崎特別支援学校 校長 ○元 福岡県家庭教育アドバイザー ○筑豊・北九州・京築教育事務所特別支援教育巡回相談員 35 年の障がい児教育の経験とその間に学んだカウンセリング等の研修を生かし、障がいのある幼児、児童・生徒が成長する喜びを実感し、かかわる保護者や教師になるほどと納得する支援の在り方を追求している。
地域	福岡県全域
部門	⑦不登校 ⑧いじめ ⑨発達障がい ⑫親の養育力向上 ⑭子どもの心理・発達の理解 ○その他（・子とのコミュニケーション・各発達段階に関する知識）
内容	◆カウンセリングマインドを基本とする児童・生徒への関わり方、支援のあり方
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 90 分～120 分程度
オンライン	講師が会場に伺い、主催者が準備した WEB 会議システム等を利用しての講演可
必要設備等	無し
講師名	そえだ しげき 副田 茂喜
経歴等	○NPO 法人 サンシャイン・ネットワーク 理事長 すべての人々に対して、青少年の健全育成、犯罪予防、環境保全、安全安心まちづくりに寄与することを目的として、各種講演、イベント、実習、等々を通じて事業目的を達成し、明るい住みよい社会づくりに貢献することを目指し活動を展開している。現在は「向こう八軒両隣」と「挨拶」の大切さを話しているが高齢には敵いません。 ○県 安全安心まちづくりアドバイザー ○中央区防犯協会副会長
地域	福岡/筑後 ※最寄りのバス停（駅）から会場までの送迎を希望
部門	①非行防止 ②街頭補導・相談 ③地域防犯 ④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり ⑦不登校 ⑫親の養育力向上 ○その他（・規範意識の醸成・道徳教育・家庭のあり方）
内容	◆青少年の薬物乱用防止 ◆第二次性徴期におけるアルコールの害について ◆非行防止と家庭・地域の関わり ◆規範意識の醸成（家庭・地域のあり方、道徳関連） ◆学校地域の立ち直り支援、ネットワークづくり ◆子どもを守るために、気楽にできる防犯活動〔組織づくり〕（わんわんパトロール 等）
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～90 分程度 ※日程調整は、開催日の 40 日以上前が望ましい
オンライン	対応可
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン

講師名	ちようあみ みきお 長阿彌 幹生
経歴等	○教育文化研究所 代表 (URL http://www.kyoikubunka.com) ○不登校よりそいネット 実行委員長(福岡市共働事業) ○不登校サポートネット 代表 ○ちくしの不登校支援ネット 理事長 ○福岡デンマーク協会 理事長 ○セルプセンター福岡 副理事長 ○福岡県ひきこもり地域支援対策連携調整会議 委員 2000年“なかよし”な人間関係についての研究機関「教育文化研究所」を設立。人間関係から起こるさまざまな問題の改善について研究している。2003年「子どもの育つ地域社会づくり」を目的とした「子ども NPO センター福岡」を立ち上げ、子ども関係の NPO 団体のネットワーク化や行政と NPO との協働を推進している。2008年「幸福度世界一の国」デンマークとの交流事業を開始、日本の社会の高福祉化について考える輪を拡げている。その他、自治体との協力や連携のなかで、市民や NPO 活動家の立場からの意見や提案を行い、官民の壁を越えて、住み良い地域づくりに取り組んでいる。
地域	福岡県全域
部門	⑦不登校 ⑫親の養育力向上 ○その他 (・子どものコミュニケーション)
内容	◆【部門：不登校】25年間にわたる不登校当事者の支援活動を通して、同時に、我が子の不登校体験を交えて、不登校についての基本的理解とこれからについて考える。 ◆【部門：親の養育力向上】子どもとのコミュニケーションとはどういうものかを具体例をもとに理解し、子どもの自己肯定感を高める養育について考える。
時間帯 時間数	応相談 / 1回当たり60分～240分程度
オンライン	対応可
必要設備等	(講演内容、受講者数により必要となる場合有) パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
講師名	どい たかのり 土井 高德
経歴等	一般社団法人おかえり基金理事長 産業大学治験審査委員 学術博士
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ④非行からの立ち直り支援 ⑦不登校 ⑨発達障がい ⑩児童虐待・ネグレクト ⑪子どもの貧困 ⑫親の養育力向上 ⑬困難を抱える家庭への支援 ⑭子どもの心理・発達の理解
内容	◆虐待防止 ◆青少年の健全育成・非行防止 ◆発達障がいへの理解と支援 ◆親の養育力向上 (ペアレントトレーニング) ◆支援者の相談面接技法
時間帯 時間数	応相談 / 1回当たり90分～120分程度
オンライン	対応可
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード (DVD 上映の場合、DVD プレーヤー)
講師名	なかみつ まさのり 中光 雅紀
経歴等	○NPO 法人 地球家族エコロジー協会 理事長 (URL https://www.interbrain.co.jp) 1995年、ふおーらむ北辰を開設以来、一貫して不登校・ひきこもりの家庭、家族に関わり、独自の家族(親)支援法により、長期のひきこもりの社会参加を実現。 2005年、NPO 法人地球家族エコロジー協会を設立してからは、家庭問題の予防のための家庭教育の啓発、普及を行っている。
地域	福岡県全域
部門	⑦不登校 ⑫親の養育力向上 ⑬困難を抱える家庭への支援 ○その他 (・ひきこもり・ニート)
内容	◆不登校・ひきこもりが起こる原因・背景の解説 ◆予防策としての家庭教育や解決法まで、アウトリーチ(訪問支援)を必要としない支援実績からの事例紹介
時間帯 時間数	応相談 / 1回当たり90分～120分程度
オンライン	対応可
必要設備等	(有れば) パソコン、プロジェクター、スクリーン

講師名	はますな きよし 濱砂 清
経歴等	○NPO 法人 男女・子育て環境改善研究所 理事長 ○ぎ・おやじコミュニティ 事務局長
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ③地域防犯 ⑤子どもの居場所づくり ⑫親の養育力向上 ○その他（・父親の地域参画支援・人と組織をつないだテーマコミュニティづくり・コミュニケーション力・メディアに関わる環境づくり）
内容	◆ソフト面からのまちづくり活動や子育てについて（人を活かしたテーマコミュニティづくり） ◆おやじの会のネットワークを組織した自らの経験から、地域の安全安心、青少年の非行防止環境づくり活動について
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分、ワークショップ 120 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、（DVD 上映の場合、DVD プレーヤー）、その他（内容により異なる）
講師名	ひぐち あやこ 樋口 綾子
経歴等	○九州栄養福祉大学特任教授（教育学） ○元小・中学校校長 ○元福岡市教育委員会教職員課 主任人事主事
地域	北九州/福岡
部門	① 非行防止 ⑦不登校 ⑧いじめ ⑪子どもの貧困 ⑫親の養育力向上 ○その他（・子どものジェンダー平等について）
内容	◆教師や校長の経験から、子どもの持つ可能性や立ち直る力を実感しました。そういう力を生かして、どのように非行や引きこもり・不登校といった問題から立ち直っていくかについてのお話します。 ◆多くの保護者との出会いを基に、親の教育力とは何か、保護者は何を求められているかを共に考えます。 ◆参加者と一緒にエンカウンター（人間関係づくりのエクササイズ）なども可能です。
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～90 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	（有れば）パソコン、プロジェクター、スクリーン
講師名	えすえふでいーにじゅういち じ や ぱ ん NPO 法人 S F D 2 1 J A P A N
経歴等	青少年の居場所づくりを行うとともに、社会活動やスポーツに関する事業を行い、青少年の健全な心と体の成長に寄与することを目的として、次のような事業を実施する。 青少年に対する居場所の運営／社会活動（主にボランティア）／青少年立ち直り支援／スポーツ指導者の育成／スポーツイベントの企画・運営／スポーツに関する調査・研究／青少年育成に関する情報提供 このほか、不登校対策や、いじめ問題への取り組みも行っている。 ＊スポーツ：アームレスリング、ボディビルの指導 HP：https://sfd21japan.com
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり ⑦不登校 ⑧いじめ ○その他（・スポーツを通じた青少年の健全育成）
内容	◆団体活動内容の説明（パワーポイントを使用） ◆取り組みの具体的事例とその実績 ◆取り組みから得た子どもの変化や対策など
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～90 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	（有れば）パソコン、プロジェクター、スクリーン、（DVD 上映の場合、DVD プレーヤー）

講師名	NPO 法人 じゃくふぁ J A C F A
経歴等	青少年の健全育成を主目的に設立。国際人として育ってほしいという熱い思いで青少年や教育指導者等に対して教育の場を提供し、近年においてその数が減少しない不登校やひきこもり者等に対する支援活動を継続している。現在の活動内容として、英語・英会話教室、国際交流児童クラブ、若者自立支援活動、不登校・ひきこもり者支援活動がある。 現在、厚生労働省・県の認定・委託事業である、長期に職業に就けず悩んでいる若者を対象に、職業的自立など将来に向けた取り組みを行う「若者サポートステーション」（福岡・筑後地域）のほか、県が設置する「福岡県若者自立相談窓口」の運営を受託している。 H P : http://jacfa.net
地域	福岡県全域
部門	⑦不登校 その他（・ひきこもり・若者の職業的自立支援・国際交流等について・青少年の健全育成）
内容	◆青少年に関する異文化理解、交換留学、国際交流、国際友好親善 ◆健全育成（幼児・児童・生徒・学生・青年） ◆心身の発達を促し、健康を維持できる体操等の指導
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 90 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
講師名	NPO 法人 きゃっぶ にじいろ C A P
経歴等	不登校やひきこもり、非行や加害行為、デートDVなど子どもたちを取り巻く問題は多様である。しかしながら、視点を変えると、「問題提起行動」と呼ばれるものの背景に、子どもたちが社会から受けている「暴力」が明らかになる。子どもたちの行動を読み解く視座と、そこから私たち大人がどう関わればいいのかという具体的な支援の方法を伝える講座を日々提供している。 当グループは年間約1, 000回の講座を実施しており様々な人材が居るため、ニーズに即した人材を派遣することができる。
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ③地域防犯 ⑤子どもの居場所づくり ⑦不登校 ⑧いじめ ⑩児童虐待・ネグレクト ⑪子どもの貧困 ⑬困難を抱える家庭への支援 ⑭子どもの心理・発達の理解 ○その他（・地域でできる非行・依存症予防）
内容	◆こどもの人権に関するテーマや、子どもたちの非行やいじめ・不登校そして自傷行為から自殺といった「問題提起行動」に対する予防法に関して、年間16, 000人の子どもたちの話に耳を傾けてきた25年の経験をもとに分かりやすくお話しします。 ◆暴力や依存症に対する予防の話を保護者と地域の方々にお話しします。
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 90 分～120 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	（有れば）パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク、ホワイトボード
講師名	NPO 法人 日本ガーディアン・エンジェルズ
経歴等	（URL http://www.guardianangels.or.jp/） 現在、世界13か国100都市で活躍する国際規模の防犯団体。不特定かつ多数のものに対して、安全パトロール等犯罪防止に関する事業等を行い、住民の生活の安全の確保に努め、安全で住みよいまちづくりの推進に寄与することを目的としている。 事業として、(1)地域安全活動 (2)まちづくりの推進を図る活動 (3)子どもの健全育成を図る活動 (4)国際協力の活動を実施している。具体的には、地域安全パトロール、子どもの安全セミナー、インターネット安全教室、防犯リーダー養成講座、女性のための防犯セミナー、安全に関わる講演、落書き消し、イベントサポート、非行予防プログラムをその活動内容としている。
地域	北九州/福岡
部門	①非行防止 ②街頭補導・相談 ③地域防犯 ④非行からの立ち直り支援 ⑤子どもの居場所づくり ○その他（・防犯パトロールや相談活動を通じた青少年とのコミュニケーション・青少年の薬物乱用防止）
内容	◆深夜徘徊をする若者たちの実態 ◆若者への積極的な声かけ、コミュニケーションをとる際に気をつけていること ◆青少年と地域の連携
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 45 分～60 分程度
オンライン	要相談
必要設備等	（有れば）パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード（DVD上映の場合、DVDプレーヤー）

講師名	NPO 法人 ふ お す く F O S C
経歴等	(URL https://www.npo-fosc.com) 子どもと女性の人権と福祉の増進を目的に、専門職者を中心に法人は作られた。 自治体の委託を受けて県内の学校で交際相手からの暴力防止や人との関係づくりの授業を実施すると共に、緊急保護施設の運営や当事者グループの窓口をしている。 講師は教員、保育士、福祉関係の資格を持ち、短大や看護学校で非常勤講師をしていた。現在は現場で不登校の子支援、児童虐待の親支援、子どもの貧困や困難を抱える家庭の支援を行っている。
地域	福岡県全域
部門	⑦不登校 ⑩児童虐待・ネグレクト ⑪子どもの貧困 ⑬困難を抱える家庭への支援
内容	現場の声をパワーポイントを使いながら伝え、当事者たちが何に悩み、どうしたいと思っているか、周囲はそれをどのように支援すればいいか、様々な制度を使い解決に導くために一緒に考えていきたい。
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～90 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	(有れば) パソコン、プロジェクター、スクリーン

○メディア部門

▶メディア部門は、下記のような内容について、現状や実態、課題、対応策などを提供します。

インターネットを介した 犯罪被害や加害、薬物乱用、ネットによるいじめ、SNSやゲーム等の長時間利用による子どもの心身の発達、人格形成、生活習慣への影響 等

講師名	おきあゆま 置鮎 正則
経歴等	株式会社伝えるを考える 講師 (URL https://tkproject.jp/) 1970 年福岡県生まれ。印刷会社、広告代理店勤務後、オフィスラバーリングを設立。インターネットやスマートフォンに関するプロモーションコンサルティングを行う傍ら、2010 年頃よりインターネットの適正利用に関する講演活動を始める。 2022 年株式会社伝えるを考えるを設立し、青少年の情報リテラシーからシニア向けスマホ講座などの講師を務め、年間 100 回以上の講演や講座で講師を務める。
地域	福岡県全域
部門	⑥インターネットの適切な利用 ②親の養育力向上
内容	スマホや SNS を中心とした青少年および大人の情報リテラシー向上について最新の情報を元にわかりやすくお伝えします。
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分 ～ 90 分
オンライン	対応可
必要設備等	(有れば) プロジェクター、スクリーン
講師名	一般社団法人 アクティブ・ペアレンティング・ジャパン
経歴等	(URL https://activeparenting.jp/) AP ジャパンが総括するアクティブ・ペアレンティング (以下略して AP と称す) を提供し、子どもたちが非行やネット依存に走らず健全に育つように、子育てに関する講演会・ワークショップなど、子育て支援を行うことを目的としている団体。 アドラー心理学をベースに様々な心理学者や教育者の考え方・やり方のコミュニケーションの技法を、親や子どもに関わる全ての方達に講演会・講座・ワークショップ等で家庭でも実践できるように提供している。
地域	福岡県全域
部門	①非行防止 ⑥インターネットの適切な利用 ⑦不登校 ⑨発達障がい ⑫親の養育力向上 ④子どもの心理・発達の理解
内容	◆子どもの非行防止・ネット依存防止のための親の関わり方レッスン 子どもとのコミュニケーションの取り方全般も相談に応じて対応可
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～120 分程度
オンライン	対応可
必要設備等	(有れば) プロジェクター、スクリーン
講師名	NPO 法人 こどもとメディア
経歴等	(URL https://komedia.or.jp) 当法人は、近年子どもに対する悪影響が指摘されているスマホ・ケータイ、インターネットはもちろん、ゲーム、テレビ、DVD などの電子メディア全般が子どもの健全な成長、発達にどのような影響を与えているかを 20 年近くにわたって調査・研究している。悪影響は思春期にいきなり起きるものではなく、乳幼児期、学童期と子どもの発達段階をそれぞれに妨げることから起きている。 これらに基づき、当法人は、電子メディアについての講演を提供する。
地域	福岡県全域
部門	⑥インターネットの適切な利用
内容	◆各発達段階の子どもたちが電子メディアに過剰に接することによって起きる様々な問題の実態を、豊富なデータと調査、身近に起きている事例を交えて具体的にお話する。 ◆ネット依存・ゲーム依存を予防するために必要な保護者や地域の取り組みを、豊富な実践事例に基づいてわかりやすくお話する。 ◆子どもと電子メディアとの適切な関わり方 ◆子どもの成長段階に応じた適切な対応策を提供する。 対応策等はワークショップを交えた形式も可能
時間帯 時間数	応相談 / 1 回当たり 60 分～240 分程度 (基本 150 分程度、実践講座を交える場合は 90 分以上で実施)
オンライン	対応講師によるため応相談
必要設備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン